

平成26年第4回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

## 1 福祉灯油特別対策事業について

まず始めに、福祉灯油特別対策事業についてであります。現在においても灯油価格が高止まりしており、冬季間の暖房等が必要な本市において、家計を圧迫する大きな要因となっております。

このことから、高齢者や障がい者、ひとり親家庭の市町村民税非課税世帯及び生活保護世帯に対し、経済的な負担の軽減を図るため、灯油等の購入費の一部を支援することといたしました。

なお、本定例会において、必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

## 2 東部学童クラブの移転について

次に、東部学童クラブについてであります。現在の施設における狭隘状況の解消や今後の入所対象学年の拡大に対応するため、中央4丁目5番地7にある児童養護施設天使の園の多目的ホールを借り受け、平成27年度から定員102名の学童クラブとして移転開設することとしたところであります。

なお、本定例会において、必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

### 3 ファーストマイホーム支援事業について

次に、ファーストマイホーム支援事業についてであります。子育て世代の定住促進を目的に、9月1日から申請受付を開始し、これまでに30件の助成を決定したところであります。

その内訳につきましては、市内転居が13件55名、転入が17件60名となっており、115名の定住に結びついたところであります。

制度利用に関する問い合わせにつきましては、現在なお多く寄せられていることから、定住人口の増加に向けた取組をさらに推進してまいりたいと考えております。

なお、本定例会において、追加事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

### 4 東日本大震災の被災地への派遣について

次に、東日本大震災の被災地への職員派遣についてであります。これまで復興に向けた人的支援としまして、宮城県石巻市と名取市、福島県いわき市、岩手県釜石市に延べ13名を派遣してきたところであります。

被災地の自治体におきましては、今なお復興事業に関わる職員が不足している状況にあり、全国市長会等を通じて職員の派遣要請があったことから、平成27年1月中旬から2カ月間、岩手県釜石市に1名の職員を派遣することとしたところであります。

なお、本定例会において、必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

## 5 国の機関への職員派遣について

次に、国の機関への職員派遣についてであります。今後の人材育成の一環として、平成27年度から2年間、国の機関に若手職員1名を実務研修生として派遣することとしたところであります。

なお、本定例会において、必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

## 6 住宅リフォーム支援事業について

次に、住宅リフォーム支援事業についてであります。4月1日から受付を行い、これまでに146件の助成を決定し、今年度の予算額に達したところであります。

リフォームの主な工事内容としましては、屋根や外装の塗装、内装、給排水設備等の改修などであり、総額として約1億9,000万円の工事が実施されたところであります。

この事業により、利用された市民の住環境の整備はもとより、地元の産業振興にもつながったものと考えております。

以上申し上げ、行政報告といたします。